

生活応援・地域復興 第20号

救援ニュース

1995.11.7

都市生活現地救援本部
西宮市津門西口町7-3
電話：0798-36-6679

10月28日

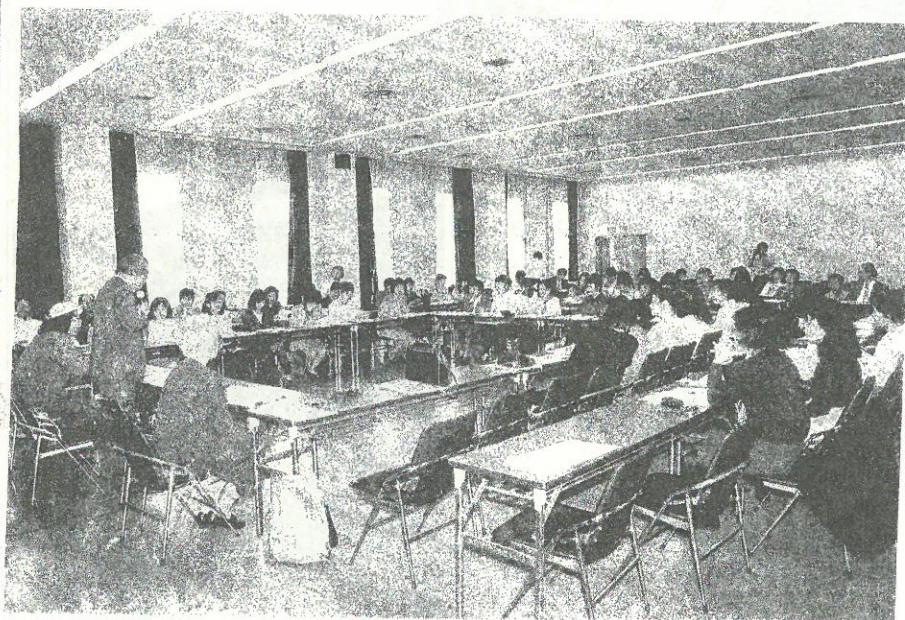
シンポジウム開催さる 阪神大震災と生協をテーマに

10月28日、神戸市中央区の私学会館でシンポジウム「阪神大震災と生協」が開かれました。「都市生活」の組合員・職員をはじめ、近畿、関東、九州、東北の友好生協の組合員・役員を中心に約130名の参加をもって行われました。この中には現地救援本部のスタッフとして5月以来ほぼ2週間交替で派遣された生活クラブ、グリーンコープ両生協の職員さん達の姿もありました。

開会の挨拶の後、島原ボラ

ンティア協議会の松永忠徳さんが基調講演を行い、島原での被災・ボランティア経験に基づいた様々なエピソードを紹介してくれました。それらの中で松永さんは、島原では経験済みの、しかし阪神淡路ではこれから起こってくるいろいろな問題についてさりげなく私たちに注意を促して下さったのではないかと思います。

基調講演に続いて、二つの会場に分かれた分科会がもたれました。第1分科会は「被



第1分科会 (10/28私学会館)

♡現地救援本部♡

INFORMATION

ポ-アイ救援青空市

11月の日程

8、15、22、29日

場所：ポートアイランド

第1～4仮設住宅

仮設交流会

11月9日(木)

伊丹市北河原仮設住宅
おでんを食べながらの交流会

西宮復興フェスティバル

11月11日(土)

場所：西宮市役所前

生命の祭

11月12日(日)

場所：甲南大グラウンド
(六甲アイランド内)

お問い合わせは

現地救援本部

TEL 0798-36-6679

まで

災・救援体験の検証」がテーマになりました。東灘区魚崎の自宅が全壊、現在は六甲アイランドの仮設住宅に住む橋本幸子さんの避難所・仮設生活の体験談に続いて、「都市生活」の尼崎・西宮・東神戸・西神戸・南神戸の各支部および職員から自らの被災・救援活動について報告が行われました。これらの報告は単に生々しいだけでなく、組合員活動、地域との結びつき、高齢化社会、消費財政策など「都市生活」の根幹にかかわる課題・問題の再検討を迫る

本当によかった！

10/16仮設交流会に参加して

泉北生協 梅地域
 金正 和子さん

ボランティアに参加したいな
 と思いつながらなかなか参加す
 るきっかけがなく、今回やっ
 と参加させてもらいました。
 遠くからのこのこ行っても被
 災された方の気持ちも分から
 ないのに何が出来るかちょっ
 と心配しながらの参加です。
 でも「おいしかった」、
 「よかった」と喜んで下さっ
 たのでほっとしました。この
 炊き出しで仮設に住まわれて
 いる方々の近所づきあいの

西宮第2球場跡仮設でカレーの炊き出し

きっかけにしてもらえばいい
 のかなと思いました。

救援活動を今もず〜と続け
 られていて、また来年の3月
 まで続けられると聞いて、頑
 張っておられるなあと思感じ
 ました。天気もよく、暖かく
 迎えて下さった都市生活生協
 の組合員さん達やボランティア
 の方々にも感謝しています。
 また機会があれば参加させ
 てもらいたいなあと思いま
 した。本当に参加させても
 らって良かったです。

大人気！！

リフレッシュステイ

11月23日に予定されている
 「ブタ見学ツアー」で11回目
 を数えるリフレッシュステイ
 に、ここ数回事務処理が追い
 つかないほどに参加希望者が
 殺到しています。たとえば、
 第7弾の「乳しぼり」では定
 員50名に対して申し込みが
 451名、第10弾の「いもほり
 みかん狩り」では定員40名に
 対して325名の応募がありま
 した。

震災の疲れをいやし、生産
 現場を直接目で見、手をふれ
 ることで生産者との相互理解
 を深めるという目的は一応達
 成されつつあると思っていま
 す。さらにこれからの企画に
 もご期待下さい。



(前ページから続く)

きわめて示唆に
 富んだものでし
 ました。

第2分科会
 では「災害と協同
 組合のシステ
 ム」というテ
 マを軸に意見発
 表が行われまし
 た。「都市生活」



第2分科会 (10/28私学会館)

と神戸大生協から震災以後
 の事業と救援活動について
 の報告があり、他の友好生
 協・ワーカーズ連合や大阪
 事業連からは、協同組合と
 していかに救援活動に取り
 組んだか、また震災によっ
 て図らずも協同組合間の交
 流が深まったこと、この交
 流をさらに発展させる必要
 があることなどが報告され
 ました。

今回のシンポジウムにお

いては、もちろん決議や声明
 が出されたわけではありません
 が、様々な意見・考え方や
 異なった経験を持つ人々が一
 堂に会することによって相互
 に刺激と啓発を与え合ったと
 いう点で大きな意義があった
 と思われま。

(現地救援本部 池田啓一)



松永さんによる基調講演
 (10/28私学会館)